

# 治水対策を推進し、より水害に強いまちづくりへ

## 令和元年東日本台風(台風第19号)から1年

### 災害復旧事業が本格化

東北地方にも甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風(令和元年台風第19号)から1年が過ぎようとしている。台風来襲時、東北地方整備局管内では、5水系35の水位観測所で観測史上最高の水位を記録。鳴瀬川水系吉田川(宮城県)と阿武隈川水系阿武隈川(宮城県・福島県)の2河川では堤防が決壊するなど、東北各地に深い爪痕を残した。応急復旧を経て、本年度から本格的に始まった災害復旧事業などについて、東北地方整備局の國友俊河川部長に取り組みを伺った。

### 力合わせ、着実に事業推進

令和元年東日本台風は、東北地方にも甚大な被害をもたらした。東北地方整備局管内では、5水系35の水位観測所で観測史上最高の水位を記録。鳴瀬川水系吉田川(宮城県)と阿武隈川水系阿武隈川(宮城県・福島県)の2河川では堤防が決壊するなど、東北各地に深い爪痕を残した。応急復旧を経て、本年度から本格的に始まった災害復旧事業などについて、東北地方整備局の國友俊河川部長に取り組みを伺った。



令和元年東日本台風では建設業が応急復旧に当たった

吉田川については、堤防が決壊した箇所は、より安全度を高める法線に変更したいと考えており、地域の方々にしっかり説明を行いながら、事業を展開していきます。また、先行して事業中の遊水地群の整備や掘削・築堤整備を行う上で、浸水対策特別緊急事業もしっかりと行い、流域地域全体の安全度を高めていきたいと考えています。

### 宮城県丸森町では大規模な土砂災害が発生しました

阿武隈川水系内川流域は、同時多発的な豪雨により上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道で堆積することにより、河床上昇・洪水埋塞が引き起こされ、西日本の花崗岩地帯では時々起る現象ですが、われわれが知っている範囲内のような丸森町で発生したようなタイプの土砂災害は東北では初めてではないかと思われています。宮城県からの要望を踏まえ、浸流内に堆積した不安定土砂等の再移動による二次災害を防ぐための緊急対応策として、直轄砂防事業として直轄砂防事業により下流に強靱なインフラを整備することができました。本格的な砂防事業については、下流の河道断面など詳細が決定し、それに対して土砂供給をコントロールするよう計画を年度内にまとめ、5カ年での整備を進めていきます。また、丸森町の一般国道349号のり面崩壊および増水による道路決壊などの被害を受け、全面通行止めとなりました。土石流が発生し、道路を寸断することもあります。

### 建設業界は大切なパートナー

建設業界に望むことは、われわれの大切なパートナーです。建設業界の方々からのご支援、建設業界のみなさまの協力をいただき、災害復旧事業を進めていくことが重要です。また、民間企業は利益を上げなければ存続できません。次世代を担う若い職人も確保していく必要があります。建設業の生産性を向上させる取り組みや、働き方改革の推進などにより、業界の意見を聞きながら、改善すべきところは改善していきたく考えています。

### 豪雨災害対策を加速化

本県では、これまで、平成27年関東・東北豪雨を契機に「災害に強い東北」を掲げ、緊急対策事業として、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策等の予算も積極的に活用しながら、河川改修や堆積土砂撤去、支障木伐採などに重点的に取り組んできました。しかし、近年、気候変動等により自然災害が一層頻発化、激甚化しており、昨年10月の令和元年東日本台風に伴う豪雨では、県内各地で観測史上最大の降雨量を記録し、河川堤防の決壊や越水、広範囲における浸水などの被害が発生しました。公共土木施設の被害箇所は1,733カ所、概算被害額は42.5億円(令和2年3月27日現在)と、豪雨による被害としては昭和61年以降最大のものとなりました。このようなことから、さらなる豪雨災害対策の加速化を図るため、今年度「新・災害に強い川づくり緊急対策アクションプラン」を策定し、堤防の機能強化や内水対策、ダム貯水量の活用などにより、災害に強い川づくりの構築に向けた取り組みを向こう5年間で集中的かつ緊急的に進めていくこととしておぼろげに決まっています。



令和元年東日本台風等において、県土木部が管理する公共土木施設等が受けた被害は、約712億円にのぼり、台風等の降雨被害を受けた査定決定額で過去最大となりました。これらの復旧状況については、令和2年7月末現在、1128カ所が完了しており、うち36カ所が復旧に向けて、全力で取り組んでまいります。

また、台風等による災害を踏まえ、総合的な防災・減災対策の強化を目的に、令和6年度までの計画期間で「福島県緊急水災害対策プロジェクト」を集中的に進めてまいります。被災箇所の早期復旧だけでなく、再度災害を受けた河川に、特に甚大な被害を受けたために、より安全な治水対策を行うこと、河川断面を拡大するなどの河道掘削や伐木、土砂災害対策事業等を重点的に推進してまいります。ソフト対策としては、住民の適切かつ迅速な避難行動を促すため、危機管理型水位計や監視カメラの増設、洪水浸水想定区域の早期作成、公表等に取り組んでまいります。

引き続き、県民の安全・安心を確保するため、国や市町村等と連携して、治水対策等に取り組んでまいります。ご支援とご協力をお願い申し上げます。



宮城県土木部長 佐藤 達也



東北地方整備局 國友 俊河川部長

これまで砂防事業は、居住地を守る、人の命を守るための事業として取り組まれてきましたが、道路など物流が途絶えることによる地域経済の影響も深刻化しています。対応していかなければなりません。

ありがたうございました。

### 直轄権限代行・一般国道349号特定災害復旧等道路工事業

山岳トンネル5本、橋梁4基を建設  
一般国道349号のうち、特に被災の大きかった丸森町耕野不動から大張川までの約8kmは、現在の国道349号の位置での本復旧が困難なため、別ルートで復旧を進める。  
計画では、丸森町耕野不動地内を起点とし、現道の西側の山側をトンネルや橋梁で貫き、同町大張川を終点とする延長約6km、幅員7m、2車線の道路を整備する。  
工作物として起点側から橋梁(橋長35m)、トンネル(延長約1,600m)、トンネル(延長約80m)、トンネル(延長約80m)、橋梁(橋長180m)、トンネル(約293m)、橋梁(115m)、トンネル(約1,865m)、橋梁(19m)を建設。このほか、1,700mの本復旧を行う。事業を進めるに当たっては、発注者が行ってきた工事進捗計画の策定、工事進捗管理、事業工程管理などを発注者と一体となって実施するPM(プロジェクトマネジメント)を導入し、円滑な業務進捗を図る。



### 砂防事業

砂防堰堤で二次災害防止  
阿武隈川水系内川流域(内川、五福谷川、新川)では、令和元年東日本台風で土砂災害が発生した。このため、流域内に堆積した不安定土砂等の再移動による二次災害を防ぐため、直轄砂防事業として、五福谷川上流部に強靱ワイヤネット工、内川と新川に床固工を整備しているほか、下流域に砂防堰堤4基を新たに整備する。さらに、内川流域の本格的な土砂流出防止対策を実施するため、直轄特定緊急砂防事業として約90億円を投入し、24年度までに砂防堰堤群の新設・改築を行う方針。  
また、宮城県は、丸森町内15カ所に砂防堰堤の新設を計画。災害関連緊急砂防事業と砂防激甚災害対策特別緊急事業の2事業を活用し、22年度までに約52億円を投入する。

### 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト

上流域に遊水地群を整備  
阿武隈川水系阿武隈川では、国・県が連携し、築堤、河道掘削、遊水地整備などの治水対策を概ね10年で行う。  
全体事業費は約1,840億円(国=約1,444億円、県=約396億円)で、内訳は災害復旧が約542億円(国=約229億円、県=約313億円)、改良復旧が約1,298億円(国=約1,214億円、県=約84億円)。上流域(福島県)では、直轄事業で遊水地群、河道掘削、堤防整備などを実施。福島県管理区間では、深川、佐久間川などの堤防整備を行う。下流域(宮城県)では、直轄事業で河道掘削、排水機場の電源二重化のほか、権限代行で内川、五福谷川、新川で堤防整備および河道掘削を実施。宮城県管理区間では、雉子尾川、半田川、小田川、高倉川で河道掘削などを行う。

### 吉田川・水害に強いまちづくりプロジェクト

約271億円を投入  
宮城県中央部に東西に流れる吉田川では今後、東北地方整備局をはじめ宮城県や関係市町などが連携し、新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」を推進していく。  
全体事業費は約271億円(国=約267億円、県=約4億円)で、内訳は災害復旧が約30億円(国=約26億円、県=約4億円)、改良復旧が約241億円(国)。直轄事業では堤防整備、堤防復旧、河道掘削、県事業では身洗川や小西川で堤防強化を実施する。

### 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト 概略工程

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
宮城県内	河道掘削								
福島県北	遊水地整備								
福島県中	堤防整備・橋梁改修								
上遊水地群	遊水地事業(調査検討、用地調査補償含む)								
その他	治水対策検討								

### 吉田川新たな水害に強いまちづくりプロジェクト 概略工程

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
東松島地区	河道掘削	河道掘削	河道掘削	河道掘削	河道掘削
松島地区	河道掘削	河道掘削	河道掘削	河道掘削	河道掘削
大崎地区	河道掘削	河道掘削	河道掘削	河道掘削	河道掘削
大郷地区	堤防復旧(調査検討・用地調査補償含む)	堤防復旧(調査検討・用地調査補償含む)	堤防復旧(調査検討・用地調査補償含む)	堤防復旧(調査検討・用地調査補償含む)	堤防復旧(調査検討・用地調査補償含む)
大和地区	河道掘削	河道掘削	河道掘削	河道掘削	河道掘削
大南地区(南川)	河道掘削・築堤	河道掘削・築堤	河道掘削・築堤	河道掘削・築堤	河道掘削・築堤
その他	治水対策検討	治水対策検討	治水対策検討	治水対策検討	治水対策検討

### 防災・減災対策に貢献してまいります

JCCA TOHOKU  
建設コンサルタント協会東北支部  
支部長 菅原 稔郎  
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-6-11(アーク仙台ビル7F)  
TEL.022(263)6820 FAX.022(222)4574

JCCO 一般 日本補償コンサルタント協会 東北支部  
支部長 安孫子 健一  
事務局/〒980-0014 仙台市青葉区本町一丁目3-9(第6広瀬ビル7F)  
TEL.022(261)1935 FAX.022(261)4558

一般 社団法人 東北測量設計協会  
会長 佐藤 和昭  
〒980-0014 仙台市青葉区本町三丁目6-17  
TEL.022(263)0922 FAX.022(263)1744

一般 社団法人 全国特定法面保護協会 東北地方支部  
支部長 加藤 善守  
仙台市若林区荒井東一丁目3-1(イーストフォート4F)  
TEL.022(295)6555

大日本コンサルタント株式会社 NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO.,LTD.  
執行役員東北支社長 向田 昇  
〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35 東京建物仙台ビル16F  
TEL.022(261)0404 FAX.022(261)0414

株式会社 復建技術コンサルタント  
代表取締役 菅原 稔郎  
本社/〒980-0012 仙台市青葉区藤町1丁目7番25号  
TEL.(022)262-1234(代表) FAX.(022)265-9309 URL http://www.fgc.jp/

SANKYO 建設コンサルタント  
株式会社 三協技術  
代表取締役 高橋 郁  
本社/〒980-0803 仙台市青葉区国分町三丁目8-4  
TEL.022(224)5503 FAX.022(224)5509

建設・補償コンサルタント  
株式会社 東建工営  
代表取締役社長 森井 希一  
宮城県名取市杜せきのした一丁目2番地の7  
電話022(383)9811代 FAX022(383)9812

まじめに、まっすぐ KONOIKE  
東北支店  
代表取締役支店長 加藤 康  
仙台市青葉区中央二丁目9-27(プライムスクエア広瀬通)  
TEL.022(266)1275 FAX.022(281)8661

地球と一緒に深呼吸 EBARA 荻原実業株式会社  
東北営業所  
所長 古館 敦  
東北営業所/〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目3-7 K2小田急ビル  
TEL.022(261)2621 FAX.022(261)2623

HASHIMOTO 株式会社 橋本店  
代表取締役社長 佐々木 宏明  
本社 仙台市青葉区立町27番21号 TEL.022-714-7020  
営業所 仙台市青葉区 山形 大崎 石巻 黒川

この街をあなたとともに 総合建設業 株式会社 深松組  
代表取締役社長 深松 努  
本社 981-0931 仙台市青葉区北山一丁目2-15 TEL.022(271)9211  
東北営業所 987-0511 登米市泊町沼沼字萩1-2-11 TEL.0220(23)2871

熱海建設株式会社 ATSUMI  
代表取締役 千葉 嘉春  
仙台市青葉区錦町一丁目1-31  
TEL.022(263)1671代

地域と未来と環境を考える 若生工業株式会社  
代表取締役 若生 保彦  
本社/宮城県石巻市清水町二丁目3-3  
TEL.0225(94)1111代  
仙台営業所/仙台市青葉区本町三丁目4-18(太陽生命仙台ビル7F)  
TEL.022(266)8801

自然を愛し未来の郷土づくりで地域に貢献する 株式会社 武山興業  
代表取締役社長 武山 隼人  
宮城県石巻市小船越字二子北111  
TEL.0225(62)3760 FAX.0225(62)3794  
http://www.takeyama-kogyo.com

総合建設業 株式会社 佐藤工業株式会社  
代表取締役社長 八巻 恵一  
本社/福島県福島市泉字清水内1 TEL.024(557)1166代  
支店/郡山・伊達・相双・仙台

技術で信頼にお応えして113年 ISO 9001(ISO 9001)品質・環境  
総合建設業 国土交通大臣許可(特)第528号  
一級建築士事務所第1006号 下水道更生(日本SPR工法協会) 住宅地建物取引業第(6)第1948号 国土交通大臣許可(特)第528号 国土交通大臣許可(特)第528号 国土交通大臣許可(特)第528号  
代表取締役社長 内藤 勇雄  
〒963-6131 福島県東白川郡棚田町大字棚田字南町20番地  
TEL.0247-33-2281代 Fax 0247-33-6942  
URL http://www.fujitak.com

総合建設業 地域と共に歩み 株式会社 横山建設株式会社  
代表取締役社長 横山 佳弘  
本社/福島県双葉郡浪江町大字幾世字橋上12-2  
TEL.0240(34)5101 FAX.0240(34)3047  
URL http://www.yoko-ken.com/

霊山を未来に伝え歩む 有限会社 大友組  
取締役 大友 秀範  
福島県伊達市雲山町掛田字中町27  
TEL.024(586)1020 FAX.024(586)1016